



片柳中学校だより

片柳

第6号 令和6年8月30日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

活躍する片中生

校長 加藤 明良

始業式の朝、生徒たちの元気なあいさつの声とともに二学期が始まりました。連日の猛暑、台風やゲリラ豪雨という変わりやすい天候の中でしたが、どんな夏休みを過ごすことができたでしょうか。

私は夏休み中、パリオリンピック、パラリンピック、甲子園での高校野球、アメリカ大リーグ大谷選手の活躍等、スポーツの世界で活躍する人たちから多くの感動や励ましをもらいました。スポーツで活躍する選手を見ると、まずは、その人のプレーや人間離れしたすごさに感動します。そして、その成功の裏にある本人の努力や監督やコーチなど周りの人の支援や生い立ちなど数多くのエピソードに感心します。これはスポーツだけではなく、文化や芸術などその道の第一人者や話題になる人すべてに共通することです。人はその人の生き方に憧れたり、感動や励ましをもらいそれを自分の生き方に少しでも参考にしたりします。また、その人や団体を応援することで楽しみも増えていきます。この感覚は人としてとても大切なことですし、社会が進歩していく上でなくてはならないことと思います。

さて、夏休み中に多くの片中生の活躍がありました。校長として生徒の活躍する姿を目にすることはこの上ない喜びであり、まさに校長冥利につきると言えます。生徒が真剣に取り組む姿、勝っても負けても流す涙は、学校の授業とはまた違った意味で素晴らしいものがあります。7月末からは学校総合体育大会の県大会でバドミントン男子団体、男女個人、卓球男女団体、男子個人が出場、吹奏楽部のコンクール出場。8月には関東大会で陸上部棒高跳び2位と4位、全国大会では陸上部100mハードル出場、棒高跳びは1位と3位という輝かしい結果を出してくれました。棒高跳びは片柳中として昨年に引き続き連覇したことになります。全校生徒数が300人に満たない学校でこれだけ多くの生徒が県大会や関東・全国大会に出場できることは珍しいことと思います。生徒の活躍の陰には、指導に当たった先生や指導員、コーチ、支えてくれたご家庭をはじめ、多くの方々のご支援の賜物と思います。また、学校の先生だけでなく、専門性の高い人材を迎えることができる部活動の地域移行を市内でも最初に取り組んできた成果の一つでもあると考えます。陸上部棒高跳びの二人はまだ2年生です。来年も中学生日本記録の更新と1位2位独占という快挙も夢物語ではありません。

この片柳地区から育った子どもたちが県や全国大会で活躍することは、学校だけでなく、地域にとっても大きな喜びではないでしょうか。今後とも、片中生へのご支援、ご協力をお願いいたします。